

都営住宅等の空き店舗を活用した創作スペースが板橋区にも誕生

「START Box 坂下」オープン！

～「START Box」3施設のアーティスト募集開始～

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、アトリエ等の確保が難しい若手アーティストに創作の場を提供し、継続的な活動を支援する事業「START Box」を展開しています。

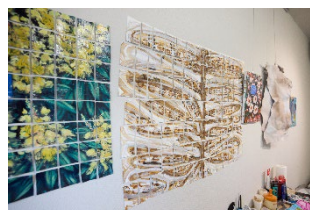
このたび、**板橋区坂下一丁目にシェアアトリエ「START Box 坂下」をオープンします。**扉のない開放的な空間が特徴で、アーティスト同士が交流し、大型作品の制作に取り組むことのできる創作環境となっています。

「START Box 坂下」に加え、既存の「START Box ササハタハツ」、「START Box 白鬚」も**10月から利用するアーティストを募集します。**各施設ともリーズナブルな料金でご利用いただけます。

応募締切は7月27日(月曜)12:00です。ぜひご応募ください。



坂下アトリエイメージ



写真：tatsuki nakata



写真：藤島亮

1 施設

START Box 坂下 (アトリエ) \ NEW! /

START Box ササハタハツ (アトリエ)

START Box 白鬚 (アトリエ・稽古場)

※ START Box お台場は令和8年度新規募集の予定はありません。

2 対象分野

アトリエ：美術、写真、メディア芸術等のビジュアルアーツ

稽古場：演劇、舞踊等の舞台芸術

3 募集期間

2026年6月29日(月曜)14時00分から7月27日(月曜)12時00分まで

4 応募資格

- ・ 創作活動場所を必要としていること
- ・ 満18歳以上40歳程度までであること
- ・ 都内在住、在勤又は都内の学校を卒業していること など

※応募資格・方法などの詳細は、次ページ以降・募集要項をご確認ください。

START Box公式ウェブサイト (<https://startbox.jp/>) からご覧いただけます。

また、これまで利用されたアーティストの活動情報も掲載しています。



公式ウェブサイト

本件は、「[2050 東京戦略](#)」を推進する取組です。
戦略15 文化・エンタメ「アーティスト・クリエイターを育成」

2050東京戦略
～東京もっとよくなる～



お問合せ先

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5000-5664

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 電話 03-6256-8432

I START Box 坂下 (アトリエ)

板橋区坂下一丁目にある都営住宅の空き店舗を活用した
美術、写真、メディア芸術等のビジュアルアーツ分野の創作活動スペースです。

1 施設概要

坂下一丁目第4アパート9号棟1階(板橋区坂下1丁目36-9)
都営三田線「志村三丁目駅」から徒歩約9分
計4区画(【約17㎡】1区画、【約20㎡】1区画、【約36㎡】2区画)

2 使用期間

時間は、下記の希望する期間の10時から22時まで
2026年10月7日(水曜)から2027年3月26日(金曜)まで 合計165日間
※2026年12月29日(火曜)から2027年1月3日(日曜)までは使用不可。
※物品の搬出入時間を含みます。搬出入可能な時間は20時までとします

3 応募資格

- 個人・グループ
- (1) 美術、写真、メディア芸術等の創作活動場所を必要としていること
 - (2) 使用規約を遵守できること
 - (3) 使用申請時点で満18歳以上40歳程度までであること
 - (4) 都内在住、在勤又は都内の学校を卒業していること
 - (5) 地域交流イベント等に積極的に協力ができること

4 使用料金

期間	約17㎡	約20㎡	約36㎡
165日間	57,750円	69,300円	123,750円

※水道・電気・Wi-Fi料金込み、ガスは利用できません。

5 応募方法

START Box公式ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください、
オンラインにより応募してください。

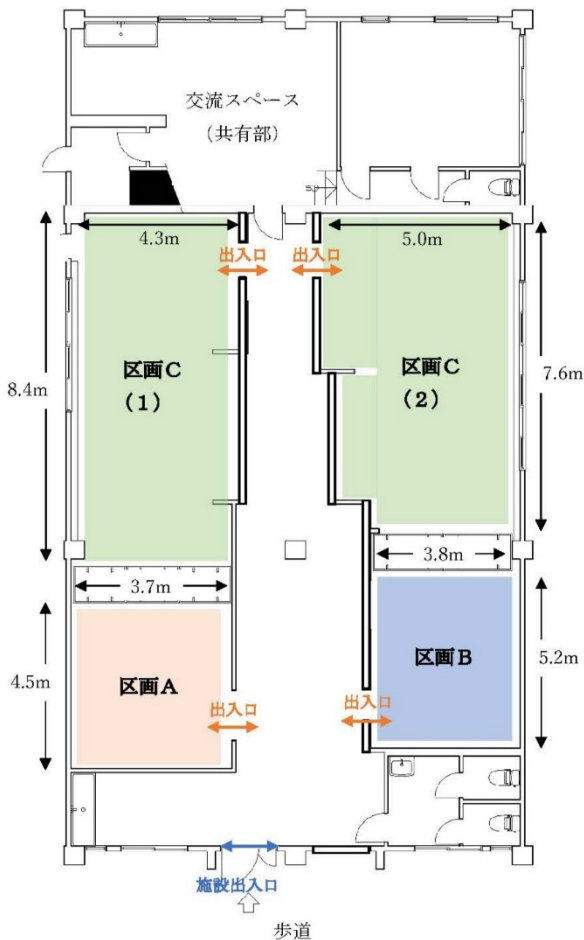


応募はこちら
START Box
公式サイト

6 選考等

提出いただいた書類により選定します。
2026年8月下旬頃(予定)、応募された方全員に結果を通知します。

7 フロアガイド



区画A	区画B	区画C
面積 約17㎡	面積 約20㎡	面積 約36㎡
[寸法] 縦 約4.5m 横 約3.7m	[寸法] 縦 約5.2m 横 約3.8m	[寸法] ①縦 約8.4m 横 約4.3m ②縦 約7.6m 横 約5.0m
[共有設備] 流し台、トイレ、交流スペース、出入口等		



室内イメージ



II START Box ササハタハツ (アトリエ)

水道道路(東京都道431号角筈和泉町線)沿いの都営住宅の空き店舗を活用した美術、写真、メディア芸術等のビジュアルアーツ分野の創作活動スペースです。

1 施設概要

- (1) 都営笹塚二丁目アパート42-15号棟 1階 (渋谷区笹塚二丁目42番)
京王線「笹塚駅」から徒歩約6分
計2区画 (約17㎡)
- (2) 都営幡ヶ谷二丁目第2アパート52-1号棟 1階 (渋谷区幡ヶ谷二丁目52番)
京王新線「幡ヶ谷駅」から徒歩約7分
計2区画 (約15㎡)

2 使用期間

時間は、下記の希望する期間の10時から22時まで
2026年10月7日(水曜)から2027年3月26日(金曜)まで 合計165日間
※2026年12月29日(火曜)から2027年1月3日(日曜)までは使用不可。
※物品の搬出入時間を含みます。搬出入可能な時間は20時までとします。

3 応募資格

- 個人
- (1) 美術、写真、メディア芸術等の創作活動場所を必要としていること
 - (2) 使用規約を遵守できること
 - (3) 使用申請時点で満18歳以上40歳程度までであること
 - (4) 都内在住、在勤又は都内の学校を卒業していること
 - (5) 地域交流イベント等に積極的に協力ができること
- ※その他条件の詳細は募集要項をご確認ください。

4 使用料金

期 間	笹塚 (約17㎡)	幡ヶ谷 (約15㎡)
165日間	92,400円	80,850円

※水道・電気・Wi-Fi料金込み、ガスは使用できません。

5 応募方法

START Box公式ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください、
オンラインにより応募してください。



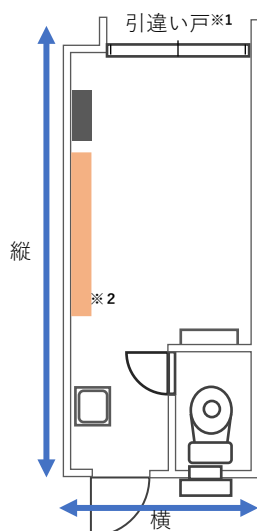
応募はこちら
START Box
公式サイト

6 選考等

提出いただいた書類により選定します。
2026年8月下旬頃(予定)、応募された方全員に結果を通知します。

7 フロアガイド

笹塚・幡ヶ谷 ※左右反転の区画もございます。



笹塚 面積 約17㎡		幡ヶ谷 面積 約15㎡	
[寸法]		[寸法]	
縦	約6.1m	縦	約5.5m
横	約2.5m	横	約2.5m
天井高	約2.6m	天井高	約2.4m

※¹引違い戸 2枚、開口部(最大)幅 約1.0m、高さ 約2.0m

※²仮設壁(釘打ち可能) 幅 約2.7m、高さ 約2.6m(笹塚)・2.4m(幡ヶ谷)

III START Box 白鬚 (アトリエ)

墨田区堤通にある都営住宅の空き店舗を活用した美術、写真、メディア芸術等のビジュアルアーツ分野の創作活動スペースです。

1 施設概要

都営白鬚東アパート 2号棟 1階 (墨田区堤通二丁目 3-2)
東武伊勢崎線「東向島駅」から徒歩約12分
計3区画 (【約20㎡】 1区画、【約25㎡】 1区画、【約30㎡】 1区画)

2 使用期間

時間は、下記の希望する期間の10時から22時まで
2026年10月7日 (水曜) から2027年3月26日 (金曜) まで 合計165日間
※2026年12月29日 (火曜) から2027年1月3日 (日曜) までは使用不可。
※物品の搬出入時間を含みます。搬出入可能な時間は20時までとします。

3 応募資格

個人
(1) 美術、写真、メディア芸術等の創作活動場所を必要としていること
(2) 使用規約を遵守できること
(3) 使用申請時点で満18歳以上40歳程度までであること
(4) 都内在住、在勤又は都内の学校を卒業していること
(5) 地域交流イベント等に積極的に協力ができること
※その他条件の詳細は募集要項をご確認ください。

4 使用料金

期間	区画① (約20㎡)	区画② (約25㎡)	区画③ (約30㎡)
165日間	79,200円	99,000円	118,800円

※水道・電気・Wi-Fi料金込み、ガスは利用できません。

5 応募方法

START Box公式ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください、
オンラインにより応募してください。



応募はこちら
START Box
公式サイト

6 選考等

提出いただいた書類により選定します。
2026年8月下旬頃 (予定)、応募された方全員に結果を通知します。

7 フロアガイド

区画① 面積 約20㎡	区画② 面積 約25㎡	区画③ 面積 約30㎡
[寸法] 縦 約6.0m 横 約3.3m 天井高 約2.8m	[寸法] 縦 約7.5m 横 約3.3m 天井高 約2.8m	[寸法] 縦 約8.0m 横 約3.7m 天井高 約2.8m ※部屋により開口部に違いがあります。

IV START Box 白鬚（稽古場）

墨田区堤通にある都営住宅の空き店舗を活用した演劇、舞踊等の舞台芸術分野の創作活動スペースです。

1 施設概要

都営白鬚東アパート 2号棟 1階（墨田区堤通二丁目3-2）
東武伊勢崎線「東向島駅」から徒歩約12分
計4区画（【約40㎡】1区画、【約50㎡】3区画）
※小道具等の制作が可能な作業場（約48㎡）を共同で利用可能です（事前予約制）

2 使用期間

時間は、下記の希望する期間の10時から22時まで
(G) 2026年10月7日(水曜)から10月31日(土曜)まで (25日間)
(H) 2026年11月4日(水曜)から11月28日(土曜)まで (25日間)
(I) 2026年12月2日(水曜)から12月26日(土曜)まで (25日間)
(J) 2027年1月5日(火曜)から1月29日(金曜)まで (25日間)
(K) 2027年2月2日(火曜)から2月26日(金曜)まで (25日間)
(L) 2027年3月2日(火曜)から3月26日(金曜)まで (25日間)
※上記期間に物品の搬出入も含まれます。
※大きな声や音楽等を必要とする稽古や物品の搬出入は20時までとします。
※第3希望まで選択が可能。希望する場合、最大2期間まで利用を承認する場合があります。

3 応募資格

個人・団体共通（団体の場合、法人格の有無及び種別は問いません）
申請時点で（1）～（5）の全ての条件を満たしていること
（1）舞台芸術における稽古場を必要としていること
（2）使用規約を遵守できること
（3）過去に公開活動の実績がある、または公開活動を予定していること
（4）申請者または使用者の半数以上が18歳以上40歳程度までであること
（5）以下のア・イのいずれかを満たすこと
ア 申請者または使用者の半数以上が都内在住・在勤、または都内の学校を卒業している
イ 団体の本部事務所または本店所在地が東京都内にある

4 使用料金

期 間	区画①②④ （約50㎡）	区画③ （約40㎡）
25日間	37,000円	31,000円

※作業場の使用料は上記金額に含まれます（時間予約制にて利用可）
※水道・電気・Wi-Fi料金込み、ガスは利用できません。

5 応募方法

START Box公式ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください、
オンラインにより応募してください。



応募はこちら
START Box
公式サイト

6 選考等

提出いただいた書類により選定します。
2026年8月下旬頃（予定）、応募された方全員に結果を通知します。

7 フロアガイド

区画①② 面積 約50㎡	区画③ 面積 約40㎡	区画④ 面積 約50㎡
<p>※②はトイレが反転します。</p>	<p>鏡</p>	<p>鏡</p>
[寸法] 縦 約8.7m 横 約5.7m 天井高 ①約3.0m(一部2.6m) ②約2.5m	[寸法] 縦 約7.0m 横 約5.7m 天井高 約2.5m	[寸法] 縦 約8.7m 横 約5.7m 天井高 約2.5m
[特長] 釘打ち可	[特長] 鏡付き、リノリウム貼り	[特長] 鏡付き、リノリウム貼り

START Box とは

- ・ アトリエ等を確保することが難しい若手アーティストに創作場所を提供し、継続的な活動を支援する事業です。
- ・ 2023年に都営住宅等の空き店舗を活用したアトリエ「START Box ササハタハツ*」「START Box お台場」、2026年1月にSTART Box 初となる稽古場を併設した「START Box 白鬚」、同年10月には「START Box 坂下」をオープンします。
- ・ これまでアトリエは延べ81名、稽古場は延べ19団体が利用しています。ここでの活動をきっかけに、海外の展覧会やコンクールで活躍している方もいらっしゃいます。

* 渋谷区は、笹塚駅・幡ヶ谷駅・初台駅周辺エリアをひとつのエリアとして「ササハタハツ」と称しています。

オープンアトリエ

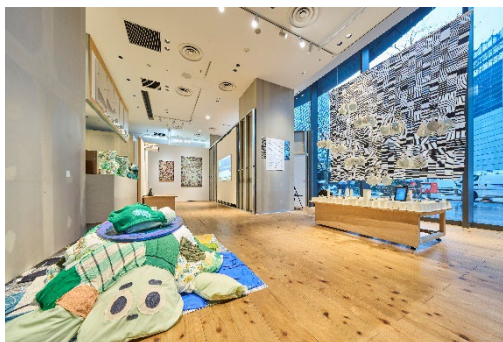
アーティストによるオープンアトリエなどを定期的に行い、アーティスト同士や地域住民と交流する機会を提供しています。



写真：tatsuki nakata

作品発表の機会

東京都が共催する文化イベント等において、START Boxで活動するアーティストが制作した作品の発表の場を提供しています。2026年2月には有楽町アートアーバニズムYAUの協力を得て、合同作品展「START Box EXHIBITION vol.5」を開催し、2026年10月には「MEET YOUR ART FESTIVAL 2026」で作品を展示します。



写真：藤島 亮



写真：tatsuki nakata

利用者の声

- 都内で安く作品制作の場を利用することができてありがたかった。
- 他のアーティストと交流することができて、刺激になった。
- スタッフや地域住民との交流機会があり、制作に良い経験になった。
- 作品を発表する貴重な機会を得られ、プロフェッショナルとしての自覚を持った。
- 固定の稽古場を持つことで、ディスカッションやワークに時間をかけて創作ができた。